

第1期 事業報告書

成立から2020年9月30日まで

一般社団法人ライフアゲイン

I 事業成果

令和2年8月、一般社団法人ライフアゲインを設立し、本格的な子ども支援センター「プレシヤス ONE」を令和3年4月に開設するための準備を開始した。城戸行政書士事務所に依頼し会社設立までの手続きを代行していただいた。今後の顧問契約は税理士法人TAパートナーズ：相浦氏、増田社会保険労務士事務所：増田氏に依頼する予定とし、以下の組織体制を決定した。

●組織役員について

理事長：原田昌樹

理事：高田猛

理事：内田美智子

監事：大谷晃士

【組織形態】

●一般社団法人ライフアゲイン（非営利徹底型）

理由：①ライフアゲイングループとして同じミッションを目指しつつ、役割分担を明確にして独自性のある事業展開を図るため

②NPO 法人と同様に非営利徹底型とし、外部に対して事業主旨を広く周知し、寄付を募りやすくするため

●設立時社員

原田昌樹・原田昌美

●年度期間

10月～9月 総会12月頃開催

●開設する放課後等デイサービスのコンセプト

「生きる力とその子らしさを育む」

●屋号名称について

プレシヤス ONE

※プレシヤスの意味は“かけがえのない、比べられない”

どの子ども達もかけがえのない命です。素晴らしい個性と可能性を持っています。

●理念

私たちは子ども達の生きる力とその子らしさを育み、すべての子ども達が大切にされる社会を実現します。

●特徴

当施設では、生きる力として食育とコミュニケーション力の育成を重視しています。

活動の中に調理実習や英会話レッスンを取り入れ、また姉妹団体の NPO 法人フードバンク北九州 ライフアゲインと連携して、子ども食堂や自然体験活動に参加します。その活動を通して自信やコミュニケーション力、将来生きていく力を育みます。子ども達が自立して生活できるよう自炊力や健康管理の力をも養って社会に送り出したいと願っています。

1. 食育：料理を作る楽しさを体験し、食の大切さを身に付けていく

⇒知的あるいは発達に障がいを抱えた子どもが、将来、施設ではなく自立して生活を始める時、自炊力や健康管理の知識はとても重要となる。その力を子どもの時代に養って送り出したい

2. コミュニケーション力を養う

①小学校から英語が取り入れられ、障がいを抱えた子ども達にとって、英語そのものが苦手となり、その苦手意識が劣等感を増長させてはいけない。それでプレシャス ONE では英会話の時間を取り入れ、海外の方にも参加してもらって楽しく英語が学べる時間を設け、今後ますます広がってくるグローバルな時代のコミュニケーション力と自己肯定感を養う。

②子ども食堂開催時は子ども食堂に参加して共食の楽しさや多世代交流を体験し、社会で生きていくためのコミュニケーション力を養う。

3. 自然体験・未知体験活動：未知の体験は自信や創造力、好奇心やチャレンジ精神を養う。

⇒もがるかキッズクラブのイベントに参加して、自然等からさまざまな体験を味わう。

【今年度の動きについて】

2020年7月 ・管理者訓練のため、原田昌美氏が夢つむぎへの研修を7/27から開始した。

2020年8月 ・会社設立8/7

・会社登記完了

2020年9月 ・9/14に理事・監事等の関係者顔合わせを行った。